

これまでの取組

- 福島県は、震災直後より避難者の生活支援・帰還に向けた環境整備・国内外の風評払拭を実施
- 環境省は、除染・特定廃棄物処理による環境再生の取組に加えて、地域の強みを創造・再発見する「福島再生・未来志向プロジェクト」を実施

第二期復興・創生期間において福島県と環境省が更なる連携

協定の概要

基本的な
考え方

- ふくしまグリーン復興、福島県の再生可能エネルギー先駆けの地を目指した取組等、環境面での福島の特長を活かした施策を福島県と環境省が連携して展開
- ウイズ・コロナ、ポスト・コロナ社会を意識して取組むことで、新しい日常生活、新しい地域のあり方を福島から発信

ふくしまグリーン復興構想等の着実な推進

- ・関係自治体・団体等による推進体制の整備
 - ・国立公園、国定公園の魅力向上
 - ・只見柳津県立自然公園の国定公園編入
 - ・猪苗代湖の環境保全
- 等
⇒自然資源活用による交流人口の拡大



復興と共に進める地球温暖化対策の推進

- ・再生可能エネルギーの一層の普及促進
 - ・福島県産の再エネ由来水素利用促進
 - ・福島県内の省エネルギー対策の普及
- ⇒浜通り地区をはじめ福島復興の加速
⇒地球温暖化対策への寄与



ポスト・コロナ社会を先取りした環境施策の推進

- ・国立公園等におけるワーケーションの促進
 - ・再生可能エネルギーの地産地消の推進
 - ・廃棄物の発生抑制、循環的な利用に関する取組
 - ・災害にも強い資源循環スキームの整備促進
- ⇒自立・分散・ネットワーク型の社会形成の実現
⇒レジリエント（強靱）な社会モデル



本協定の効果的な実施に関する共通的事項

- ・福島県民・企業・市町村等が参加するシンポジウムの開催
 - ・優良な取組を表彰する制度の創設
- ⇒福島復興の姿を福島県内外へ発信
⇒浜通り地域をはじめとする
福島県の風評払拭



※記載内容は、今後の協議により実施内容等に変更がある可能性があります。

ふくしまグリーン復興構想等の着実な推進

- 磐梯朝日国立公園や尾瀬国立公園におけるビジターセンターのリニューアルによる魅力向上(裏磐梯ビジターセンターは、新たなアクティビティの拠点として改修予定(今年度に基本構想・設計を実施)。新尾瀬沼ビジターセンターは来年度開所予定)。
- 只見柳津県立自然公園(只見川沿岸等)の越後三山只見国定公園への編入と、編入後の魅力向上に向けた検討。
- ふくしまグリーン復興構想のプロモーション及び推進体制の整備(関係自治体・団体等による協議会発足)。等

復興と共に進める地球温暖化対策の推進

- 福島県内のニーズを踏まえ、地球温暖化対策が一層進むよう再生可能エネルギー等の導入促進や、スマートコミュニティ実現に向けた調査等、復興まちづくりを推進するための支援の検討。
- 福島県産の再生可能エネルギー由来水素の利活用の推進に向けた検討。
- 省エネやごみ減量化等に向けた普及啓発の一層の推進(県民参加を促進するスマホ向けアプリの制作など)。等

ポスト・コロナ社会を先取りした環境施策の推進

- 磐梯朝日国立公園等でのワーケーションの促進。
- 地域産の再生可能エネルギーの地産地消(自立・分散型の再エネシステム導入)の実現に向けた検討の推進。等

本協定の効果的な実施に関する共通的事項

- 環境の観点から未来志向の優良な取組を表彰する制度の創設。
- 多くの県民が参加可能な、未来志向プロジェクトのシンポジウム等を共同で開催。
- 本協定の進捗状況を定期的にフォローアップするための会議を環境省と福島県で開催。 等